

事業所名:グループホームやすらぎの里

作成日:平成 22年 12月 9日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	管理者一人が中心となって企画・運営しているので義務感が先行してしまい、豊かな発想が阻害され2ヶ月に1回の会議の負担感を強く感じている。	運営推進会議を2ヶ月に1回の定期的開催を行う。	管理者一人に任せるのではなく、複数の職員と共に企画・運営し、地域との関係性の強化及び更なる業務改善に取り組む。	1か月
2	43	食事の準備や入浴介助など業務が忙しくなると入居者一人ひとりの排尿の把握をできなくなる。	排尿についても記録表に記入し、オムツの使用量を減らす。	食事の準備中や入浴介助中でも一人ひとりに目を配り排尿時も記録し、排尿のパターンを把握し、一人でも多くのおむつの使用量を減らす事ができるように取り組む。	1か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。